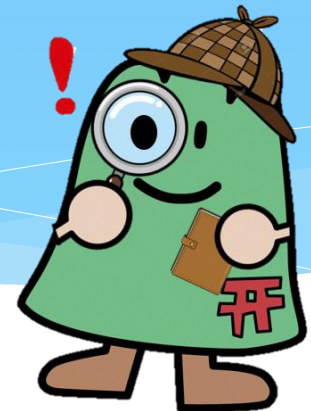


# 宮島を誇りに思い、 宮島の未来を創る 児童生徒の育成

～9年間のつながりを意識した持続可能な学習体系づくりを通して～

廿日市市立宮島中学校区  
(宮島小学校・宮島中学校)



世界遺産、日本三景安芸の宮島にある学校

# 宮島小学校・宮島中学校(宮島学園)



学園生 人数

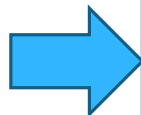
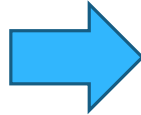
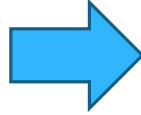
前期	1年	12
	2年	18
	3年	18
	4年	10
中期	5年	14
	6年	17
	7年	11
後期	8年	15
	9年	13
合計		128

## 指導上の課題から

地域の文化や歴史等に関する学習内容が固定化し、課題に対し、受動的に取り組む傾向がある。

少人数集団の中で、他者と協働的に取り組んだり、批判的に取り組んだりする経験が少ない。

学習成果を有効に生かしたり、新たな課題につなげたりする場や効果的に発信する場が少ないため、有用感を感じにくい。



つけたい資質・能力を明確にし、PBLの考えを参考にした単元開発を行う。

地域人材や専門家とともに学び、様々な考えに触れ、自分の考えを変容させたり深めたりできるようにする。

探究の過程で「まとめ・表現」を工夫し、地域に貢献できるようにする。  
SDGsの視点で学びをつなぐ。  
振り返りで成果を自覚させたり新たな課題を発見させたりする。

# 研究の概要

4 質の高い教育を  
みんなに



宮島を誇りに思い、宮島の未来を創る児童生徒の育成  
～9年間のつながりを意識した持続可能な学習体系づくりを通して～

## 【研究の仮説】

- (1) 発達段階に応じた毎時間の授業の「振り返り」や課題を個々で設定し、それに向けて探究活動をしていけば、学びが深まり、個としての成長とともに、集団としての成長につながるだろう。
- (2) SDGsの視点を明確にして、宮島の文化や自然を守る学習活動を自らのテーマを掲げて取り組ませれば宮島を愛し大切にする児童生徒の育成につながるだろう。



## 中間報告の流れ

- \*つけたたい資質・能力の設定
- \*研究内容 ①振り返り ②SDGsの視点
- \*開発した単元
  - 8学年「宮島を紹介しよう～世界遺産宮島の名所を発信～」
  - 3学年「昔の暮らし これからの暮らし～もっと知りたい宮島～」
- \*研究の成果と課題
- \*今後に向けて カリキュラムの再構築



研究推進 “みんなで一歩”



目指す資質・能力の系統表

		資質・能力が身に付いた 児童・生徒像	前期（1～4年）	中期（5～7年）	後期（8・9年）
おもてなし力	宮島の文化・自然等、それらに対する思い・願いを理解し、伝えたいことを見つけて行動する。 <b>知識及び技能</b>	○宮島のもの・人・こと、それらに対する思いや願いを理解している。（郷土愛）	・宮島には何があるか、どのような関係があるか等の特徴が分かる。	・宮島で暮らす人々の思いや願い、地域のよさが分かる。	・宮島のよさや課題等について社会との関わりが分かる。
		○得た知識の中から伝えたい思いをもち、交流する。（情報の整理）	・見聞き経験したことをもとに伝えたい思いをもつ。	・情報を整理して伝えたい内容を明らかにする。	・情報を整理・分析し、自分の考えをもつ。
伝える力	身に付けた知識・技能を活用して、相手や目的・意図に応じて、効果的に自分の考えを表現する。 <b>思考力 判断力 表現力等</b>	○自分の考えを経験や知識と結び付けて分類・整理するなどして、情報を扱っている。（整理・分析）	・事象を比較したり分類したりして理解し、多様な事象の中にある特徴を見つけている。	・整理した情報を関連づけて理解し、多様な事象の中にある特徴を見つけている。	・事象を比較したり因果関係を推論したりして理解し、多様な情報を分析している。
		○目的や意図に応じて、効果的に自分の考えをまとめ、相手を意識して表現している。（表現）	・相手に応じ分かりやすくまとめ、順序に沿い、理由をつけて表現している。	・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、構成を考え筋道立てて表現している。	・相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。
見つけめる力	自分と地域・社会とのつながりに気づき、自分自身を見つめ、将来について展望をもって考える。 <b>学びに向かう力 人間性等</b>	○より高い目標を立て、努力しようとしている。（主体性）	・自分の疑問から問題を見つけ、自分にできることを考え行動する。	・自己のふり返りから目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。	・目標を明確にし、課題の解決に向けて、計画を立てて行動する。
		○課題解決に向けて、他者と力を合わせて考え、実行しようとしている。（協働性）	・身近な人と協力して課題を解決しようとする。	・他者と協働して課題を解決しようとする。	・互いの特徴を生かし、他者と協働して課題を解決しようとする。
		○自分の将来について具体的に考え、夢や希望をもつ。（将来展望）	・自分の将来の夢や希望をもつ。	・自分たちの生活を考える大切さを理解し、夢や希望をもつ。	・将来の自分たちの生活を具体的に考え、夢や希望をもつ。

# 研究内容① 振り返りを大切にする学び

## 振り返りの手引き「ふりかえるくん」（中・後期用）

### A どんな学習をしましたか？

- ① ～が分かりました。～ができました。～に気づきました。
- ② これまで学習した・・・が使えました。

### B どんな考えを持ちましたか？

- ① ○○さんの考え方について・・・思いました。
- ② 色々な考え方を比べて・・・思いました。
- ③ ○○さんの考え方がよいと思いました。それは・・・だからです。
- ④ ～を使って考えたり，発表したりしました。

### C 今後の学習に生かせそうですか？

- ① 今日の学習は，日常生活の・・・とつながりがあると思います。
- ② 今日の学習は，日常生活の・・・に役立つと思います。
- ③ もっとこんなことを調べてみたいです。・・・してみたいです。
- ④ 今日の学習で，・・・な力が高まったと思います。

教科の学習を  
振り返ろう

～授業見合おう週間～

11月 1日～ 5日

2月 7日～10日

授業を見合うことで

- ・ 主体的に学ぶ姿
- ・ 指導の系統を意識
- ・ 振り返りの工夫



## 研究内容② SDGsの視点を明らかにした学習活動



持続可能な学習体系のなかで  
自ら考え探究していく課題に  
取り組む態度を育成

学年	探究課題
3	 昔の暮らし・これからの暮らし
4	 達人に学ぶ(伝統工芸)
5	  宮島の自然とともに(環境)
6	 伝えよう, 宮島(まちづくり)
7	  宮島の自然とともに(環境)
8	 宮島を紹介しよう
9	 宮島を紹介しよう

児童生徒にとって  
学びのつながり・  
社会とのつながりを  
意識した探究活動

# 8学年「宮島を紹介しよう～世界遺産宮島の名所を発信～」

## 単元の目標

宮島を訪れる観光客を案内する活動を通して、宮島の観光資源の魅力や価値・課題について理解し、観光客の目的や意図に応じた案内の仕方を考え、宮島と自分とのかかわりを意識しながら行動したり生活したりできるようにする。

令和3年度 廿日市市立宮島中学校8学年オリジナルMAP

### 宮島紹介マップ



- 【写真提供】
- ①長濱神社
  - ②廿日市役所
  - ③長門神社
  - ④長門神社
  - ⑤みやじまマリン
  - ⑥宮島観光ナビ
  - ⑦大願寺
  - ⑧宮島観光協会
  - ⑨宮島観光協会
  - ⑩宮島観光協会
  - ⑪宮島観光協会
  - ⑫宮島観光協会

### 【見どころ紹介】

- ①長濱神社**  
赤色の四脚鳥居がある。  
夕日がきれいだとか。
- ②おもてなしトイレ**  
トイレがとてもきれい。  
2Fには休憩スペースがある。
- ③千畳閣**  
別名 豊国神社  
秋はイチョウの絶景スポット！  
インスタ映えが狙えるかも！？
- ④五重塔**  
朱色のとても立派な建物です。  
軒先の反りが大きいので、堂々とした、重々しい雰囲気のある五重塔で、とてもかっこいいです。

- ⑦大願寺**  
あなたは、不動明王像が笑っているように見えますか？  
自分が悪いと思う人には怒って見えるかも……。
- ⑧みやじまマリン**  
1300匹以上のお魚などがみられる！  
瀬戸内海にいたるスナメリも！！スナメリと飼育員の華麗なパフォーマンスが見どころです！！

- ⑪紅葉谷公園**  
宮島を代表する紅葉スポット  
700本の紅葉がお出迎え。  
ロープウェーの駅があり便利。
- ⑫弥山**  
標高 535m と、島内1の高さ！  
歩いても、ロープウェイでも。  
「日本三景」の一の真面目は、  
頂上の眺めにありJoy 伊藤博文

廿日市市立 宮島中学校  
〒739-0588 広島県廿日市市宮島町 779-2  
mail: miyajima-j-soshiki@hatsukaichi-edu.jp



単元構想シート		
第8学年	教科等 総合的な学習の時間	単元(題材)名 宮島を紹介しよう
① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)		
日本屈指の観光地としてあり続けるためには？		
② 単元を貫く問い (単元を通して考えを深めていく「問い」)		
宮島学園の生徒だからこそできる宮島ガイドがないだろうか。		
③ 個別の問い (単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等)		
私にとっての宮島の魅力は？ 観光地としての現状は？(リソース、観光客の推移 etc) 現在行われているガイドは？ ガイドに必要なものは？(英語力、パンフレット等)		
単元計画の 構想を立てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自分なりの魅力について調べる。(自然・寺社等)</li> <li>② 観光客の視点にたった発信方法</li> <li>③ 英語科との連携</li> <li>④ オリジナリティを出す。</li> </ul>	



社会貢献  
リピーター増

# 8学年「宮島を紹介しよう ～世界遺産宮島の名所を発信～！」

## (1) 本単元の評価規準

おもてなし力	伝える力	見つめる力
宮島の文化・自然等、それらに対する思い・願いを理解し、観光客に伝えたいことを見つけて行動している。	観光客の目的や意図に応じて、「相手意識」を考えながらガイドをしている。	観光地としての宮島の現状をふまえ、自分自身にできることに気付き、今後の生活や行動に生かそうとしている。

## (2) ルーブリック

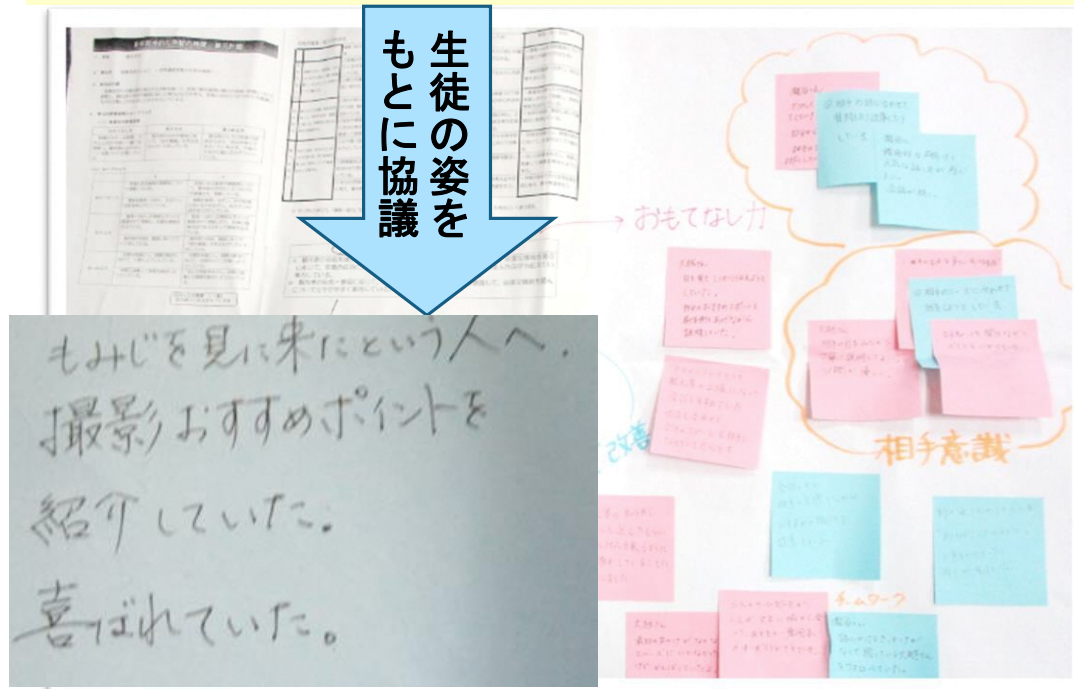
	B	A
おもてなし力	宮島にある資源や課題等について理解している。	宮島にある資源や課題等について、観光地の活性化とのつながりを関連させ、理解している。
	情報を整理・分析し、伝えたい内容を明らかにしている。	情報を整理・分析し、自分自身の思いを入れながら、伝えたい内容を明らかにしている。
伝える力	整理・分析した情報をガイドと関連付けて理解し、必要な情報を伝えている。	整理・分析した情報をガイドと関連付けて理解したり、自身の情報を付け加えたりして情報を伝えている。
	観光客の目的、意図に応じてガイドをしている。	観光客の目的、意図に応じて「相手意識」を考えながらガイドをしている。
見つめる力	目標を明確にし、課題の解決に向けて、行動しようとしている。	目標を明確にし、課題の解決に向けて、計画を立てて行動しようとしている。
	仲間と協働して課題を解決しようとしている。	互いの特徴を生かし、仲間と協働して課題を解決しようとしている。

本時

宮島を訪れる旅行者に対して、グループごとにオリジナルマップを用いて案内をする場面

伝える力	おもてなし力
A 観光者の反応を確かめながら、目的・意図に応じて、宮島の名所について分かりやすく案内している。 B 観光者の目的・意図に応じて、宮島の名所について分かりやすく案内している。	A 相手の状況を意識して、必要な情報を選ぶとともに、自分の思いを入れながら伝えたい内容を決めている。 B 相手の状況を意識して、必要な情報を選んでいる。

生徒の姿を  
もとに協議





# 3学年「昔の暮らし、これからの暮らし～もっと知りたい宮島～」

11 住み続けられる  
まちづくりを



## 単元の目標

家族や地域の大人から昔の暮らしの様子を聞き取ったり、昔の暮らしを体験したりする活動を通して、昔の暮らしや人々の思いに気づき、持続可能な視点で今の暮らしと比較して考え、自分の生活や行動に生かすことができるようにする。

### 単元のゴール

児童が感じた昔の暮らしの工夫・  
知恵、自分も取り入れたいこと、  
暮らしの豊かさ・・・  
地域の人に発信し、意見交換



8学年「宮島を紹介しよう～世界遺産宮島の名所を発信～」  
観光地宮島を切り口に宮島の将来を考える

本質的な問い「10年後の宮島はどうあるべきか。」

単元構想シート	
第3学年	教科等 総合的な学習の時間 単元(題材)名 むかしの暮らし これからの暮らし ～ もっと知りたい宮島 ～
① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)	
わたしたちが住んでいる地域を、よりよい未来にするために、何をしたらよいだろう。	
② 単元を貫く問い (単元を通して考えを深めていく「問い」)	
今の自分の暮らしに、昔の暮らしは何を教えてくれるのかな。	
③ 個別の問い (単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等)	
・宮島の人たちの子どもの時の暮らしは、どんな様子だったのだろうか。 ・昔の道具は、どんなふうにするのだろうか。 ・昔の宮島小学校は、今とどうちがうのだろうか。	
単元計画の 構想を立てる	1 家族に昔の様子を聞く 2 調べたことをもとに宮島の昔について調べる計画を立てる。 3 宮島の昔の様子を知る人に話を聞いたり、昔の暮らしを体験見学したりする。 4 学習をまとめ、自分の将来に生かせることを考える。



## 研究の成果指標

指標	達成目標	検証方法
「宮島のことを誇りに思い、 他者に伝えたい」 児童生徒の割合	80%	ふるさと学習アンケート
筋道を立てて伝えることが できる児童生徒の割合	80%	学習成果物等
自分の将来について 考えようとしている 児童生徒の割合	80%	振り返りシート記述

## 研究の成果と課題

- つけたい資質・能力が明確になり，活動の仕組み方・評価の仕方などを共有できた。
- ルーブリック作成は，指導者の見取り・学習者の意欲向上に有効であった。
- 9年間の学びを系統的につなげる。



研究推進 “みんなで一歩”



今後に向けて～カリキュラムの再構築～

宮島学習

生き方・あり方  
学習

		SDGs ⑪ ⑧ ⑫ ③	行事・交流	⑭ ⑮	キャリア発達	
前期	1	地域を知る・愛着をもつ				自己
	2	学級課題の探究 (過去・今)				自己
	3					自己
	4					自己
中期	5	学級課題の探究 (過去・今・未来)				自己
	6					自己
	7					自己
後期	8	個別課題の探究		異学年・2年間	自己	
	9					自己の将来

宮島っこ本



(学びの蓄積)

認識・選択・表現

令和4年10月28日(金)  
小中一貫教育小規模校全国サミットin宮島



研究推進“みんなで一歩”